

2019年度 障がい者支援施設敬仁会館事業計画

1. 施設理念

「利用者の人権を尊重し、権利擁護に取り組みます」

2. 施設方針・テーマ

『ともに働き、ともに生きる施設づくり』

- ① 徹底した安全管理とコンプライアンスの徹底
- ② 利用者が「生きがい」と「働きがい」を感じる支援サービスの提供
- ③ 施設機能の活用による地域貢献・社会貢献の実践
- ④ 働き甲斐のある職場作り

3. 実施事業

(1) 障害者支援施設

| | |
|----------|--------|
| * 施設入所支援 | 定員 65名 |
| * 短期入所 | 定員 5名 |
| * 生活介護 | 定員 80名 |

(2) 就労継続支援B型

| | |
|---------------|--------|
| * ワークサポート敬仁会館 | 定員 54名 |
| * ワークサポートあしたば | 定員 20名 |
| * ワークサポート琴浦 | 定員 20名 |

(3) 就労移行支援

| | |
|---------------|-------|
| * ワークサポート敬仁会館 | 定員 6名 |
|---------------|-------|

(4) 共同生活援助（グループホーム）

| | |
|---------------|--------|
| * グループホーム敬仁会館 | 定員 60名 |
| * グループホーム琴浦 | 定員 10名 |

(5) 地域生活支援事業（日中一時支援事業）

| |
|---------------|
| * 障害者支援施設敬仁会館 |
|---------------|

(6) 特定相談支援事業所

| |
|-------------------|
| * 障がい者サポートセンター 敬仁 |
|-------------------|

4. 重点目標

- ・利用者の人権を尊重し権利擁護に徹した「安心して安全な専門性のある良質なサービス」を提供し、利用者・家族・関係機関・地域から信頼される施設運営を行う。
- ・入所施設高齢重度化する利用者が快適に生活出来る場所作りと、グループホーム在宅障がい者の生活拠点の環境の充実を図る。
- ・就労支援を通じて働く喜びを体得し、利用者個々が社会人としての自覚と責任感を高める就労の実践の場を提供する。
- ・各部門が利用稼働人数目標を設定し、良質なサービスの根幹である安定経営と健全経営をめざす。

・以下の6項目の目標達成に向けた活動を実施する

(1) 利用者へのサービス提供

- ◆ 利用者の事故防止・災害防止・防犯体制等の安心・安全の提供
- ◆ スーパーバイザー導入により自閉症、発達障がい者、高齢障がい者等への職員スキルアップを図り支援
- ◆ 生きがい・働き甲斐を感じる生活環境と工賃確保含む作業環境の整備

(2) 施設・設備整備

- ◆ 老朽化した設備・資産等の更新
- ◆ 利用者のサービス向上・生活環境改善・作業生産性向上対応のための設備

(3) 施設管理

- ◆ 本館・あしたば・琴浦・GHの定期点検による建物維持と施設内外の環境美化
- ◆ 火災、天災を想定した訓練の他、災害全般のリスク軽減
- ◆ GH上井エリア定員50名のリスク管理（ハード面・ソフト面）

(4) 職員管理

- ◆ 各部門の職員の専門性を高める為、外部研修への積極的参加を行うとともに中堅職員の育成を図る。
- ◆ 役職者による部下の定期的な面談により労務管理、メンタル・ストレスマネジメントも踏まえた労働環境改善を行う

(5) 経営管理

- ◆ 稼働目標及び経営数値目標達成の為の数値分析と対策実行
- ◆ 役職者への各種情報提供等で経営参画の意識を高める

(6) 地域との連携

- ◆ 各団体・学校からの見学実習の積極的な受入れで障害者福祉教育の一躍を担う
- ◆ グループホーム（敬仁会館・琴浦）は在宅の視点から地域交流を更に展開
- ◆ 機関紙・ホームページを充実し地域へのタイムリーな情報配信を行う

(7) その他(就労支援)

- ◆ 椎茸栽培コンテナの増設により生産性拡大と就労事業の充実を図る
- ◆ 職員からの商品企画・販売促進・アイデアなどの提案導入による工賃アップ
- ◆ ワークサポートあしたばの新商品・新販路の開拓